

| ID | 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|----|-----------|-------|-------------------|--|-----------|-------|----------------|-------|----|----|--------|-----------------|---|--|
| 28 | 2007/3/28 | 68061 | エドワーズライフサイエンス株式会社 | ヘパリン使用静脈用カテーテルイントロデューサー ヘパリン使用サーモダイリレーション用カテーテル ヘパリン使用バルーン付ペーシング向け循環器用カテーテル ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用体外式ペースメーカー用心臓電極 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用人工心肺用回路 ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用人工心肺用貯血槽 | ヘパリンナトリウム | 豚小腸粘膜 | 中国・米国・カナダ・イタリア | 組成・構造 | 有 | 無 | 無 | 感染 | OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日 | 中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。 |
| 29 | 2007/3/28 | 68062 | トノクラ医科工業株式会社 | ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用体外式膜型人工肺 | ヘパリンナトリウム | 豚小腸粘膜 | アメリカ合衆国 | 製造工程 | 有 | 無 | 無 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | Health Protection Report 1(3) 2007年1月19日 | 英国で4例目の輸血関連vCJD可能性例が診断された。この症例は供血後約17ヶ月でvCJDを発症したドナーからの赤血球輸血を受け、8年半後にvCJDを呈した。このドナーは3例目の輸血関連vCJD症例へのドナーでもある。4例目の症例はプリオン蛋白遺伝子のコドン129がメチオニンホモ体であった。まだ生存している。 |

| ID | 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|----|-----|----|------|-----|---------|------|-----|------|----|----|--------|----------|--|---|
| | | | | | | | | | | | | 鳥インフルエンザ | 英国保健省 2007年3月20日 | 2007年3月20日現在、感染したトリとの接触の結果、ヒト281名がトリインフルエンザに感染し、その内169名が死亡した。H5N1がヒトからヒトへ簡単に伝染する能力を獲得したとの明確な根拠はないが、ウイルスがこの能力を獲得するか、またはヒトのインフルエンザウイルスと混ざって新しいウイルスを作ることが懸念されている。2007年2月3日にSuffolkで家禽にH5N1アウトブレイクが発生したが、現在のリスクレベルは極めて低い。また、家禽に密接に接触するヒトのために無料の季節的インフルエンザワクチン接種が提供される予定である。 |
| | | | | | | | | | | | | 感染 | OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日 | 中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。 |
| | | | | | | | | | | | | 狂犬病 | ProMED-mail20061118.3303 | 2006年11月17日、京都保健所は、2006年8月末にフィリピンで野良犬に手を噛まれ、2006年11月1日に帰国した後、狂犬病を発症した60歳代の男性が死亡したと発表した。 |

| ID | 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|----|-----------|-------|-----------------------|------------------------|--------------|--------|--------|-------|----|----|--------|-------------|-----------------------------------|---|
| | | | | | | | | | | | | HHV-8感染 | N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338 | 2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダのKampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバージョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有意に高かった。 |
| | | | | | | | | | | | | トリパノソーマ症 | CDC/MMWR 2006; 55(29); 798-800 | ロサンジェルスでの心臓移植患者2名で、臓器移植によるシャーガス病伝播が見られた。1例は拒絶反応による合併症で死亡し、もう1例は心不全で死亡した。両例ともドナーがTrypanosoma cruzi感染者であったことが明らかとなった。米国における固形臓器移植によるT. cruzi伝播としては4例目と5例目になる。 |
| | | | | | | | | | | | | インフルエンザ | J Virol 2006; 80: 12229-12235 | シベリアのIce湖の氷と水の中にインフルエンザAウイルスの遺伝子が保存される事が明らかとなった。この湖は渡り鳥がアジア、北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカへ移動する途中に訪れる所であり、インフルエンザAウイルスは秋の渡りの初めに湖に預けられ、氷中に保存され、春にトリが戻るときに氷が解けてウイルスが放出される。この時、前年のウイルスと南の地でトリが獲得した新しいウイルスとの間の一時的な遺伝子の流れが促進される。 |
| 30 | 2007/3/28 | 68063 | カーディナルヘルス・ジャパン228株式会社 | 滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル | ヘパリン(ナトリウム塩) | ブタ小腸粘膜 | 米国・カナダ | 組成・構造 | 有 | 無 | 無 | ウエストナイルウイルス | CDC/MMWR 2006; 55(44): 1204-1205 | 2006年1月1日から11月7日の間に米国で計41州およびコロンビア地方からウエストナイルウイルスのヒト症例3830例がCDCへ報告された。神経侵襲性疾患1339例、ウエストナイル熱2324例、他の臨床症状167例、死亡例119例である。 |

| ID | 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PIT) | 出典 | 概要 |
|----|-----------|-------|--------------|--|-----------|-------|---------|------|----|----|--------|----------|--------------------------|--|
| | | | | | | | | | | | | 炭疽 | ProMED-mail20060916.2635 | カナダSaskatchewanにおいて153施設で炭疽が確認された。これら施設における動物(ウシ, ウマ, ブタ, ヒツジ, バイソン, シカ, ヤギ)の死亡は783件である。Manitoba においては変更ない。 |
| 31 | 2007/3/29 | 68064 | マツケ・ジャパン株式会社 | ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用冠動脈灌流用カテーテル ヘパリン使用心室カニューレ ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用人工心肺用貯血槽 ヘパリン使用体外式膜型人工肺 ヘパリン使用大静脈カニューレ ヘパリン使用大腿動静脈カニューレ ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用汎用吸引用カテーテル | ヘパリンナトリウム | ブタ腸粘膜 | イタリア、中国 | 添加物 | 有 | 無 | 無 | 口蹄疫 | ProMED20060101-0010 | 12月6日以降、中国山東省都済南市Changqing地区で発生した家畜の異常はアジア1型口蹄疫であった。山東省当局は処分、消毒、予防接種を指示した。鳥インフルエンザや口蹄疫などの対策として、全ての村に感染症モニタリングの職員を配置するべきである。 |
| | | | | | | | | | | | | 口蹄疫 | ProMED-mail20070117.0224 | 中国Yuen Longの養豚場で口蹄疫が発生したが、今までのところ異常な死亡例は観察されていない。当局調査官は2007年1月10日に農場を検査し、病気のブタから採取した組織検体を検査したところ、口蹄疫ウイルス陽性であった。農場全体の消毒およびブタおよびヒトの移動の管理を命令した。 |

| ID | 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|----|-----|----|------|-----|---------|------|-----|------|----|----|--------|----------|--------------------------|---|
| | | | | | | | | | | | | 口蹄疫 | ProMED-mail20061117.3292 | アジア1型口蹄疫のアウトブレイクが中国Gansu省Chongqing CityのWanzhou地区およびYongdeng Countyで報告された。Wanzhou地区でのアウトブレイクは2006年11月10日に始まり、ウシおよびブタに影響を与えた。Yongdeng Countyでは2006年11月10日に始まり、ウシに影響を及ぼした。 |
| | | | | | | | | | | | | 鳥インフルエンザ | WHO/CSR 2006年8月14日 | 中国におけるトリインフルエンザの状況(update14): 中国衛生省は、H5N1トリインフルエンザウイルスによる同国で21例目のヒト感染症例を確認した。症例はXinjiang Uygur自治区の62才男性で、2006年6月19日に発症し、7月12日に死亡した。症例の検体に関する初期検査は陰性であった。7月および8月に検査を繰り返し行ったところ、最終的に陽性結果であったことが、2006年8月14日に衛生省により確認された。症例の疫学的調査により死亡または病気のトリへの暴露歴を明らかにすることはできず、発症前月に旅行歴はなかった。中国において現在までに確認された21例のうち、14例が死亡している。 |
| | | | | | | | | | | | | 鳥インフルエンザ | WHO/CSR 2007年1月10日 | 中国におけるトリインフルエンザの状況: 中国衛生省は、H5N1トリインフルエンザウイルスによる同国で22例目のヒト感染症例を確認した。症例はAnhui省の37歳男性で、2006年12月10日に発症し、12月17日に入院し、2007年1月6日に退院し、回復しつつある。この男性は農業従事者で裏庭で多くのトリを飼っていたらしいが、病気のトリに接触したかは不明である。 |
| | | | | | | | | | | | | 感染 | ProMED-mail20061223.3592 | 2006年12月22日の北京当局の発表によれば、最近、北京Tongzhou地方のGuoxian町Guoxian村で発生しているブタの病気はブタマイコプラズマ肺炎とブタコレラの合併症であった。2006年12月初めに80頭のブタが発病したが、病気のブタはテンのえさとして業者に売られた。この後すぐに、当局は病気や死んだブタを追跡し、養豚場を消毒し、感染の拡大を防いだ。 |